

# 第 35 回 日本ダウン症療育研究会

JSPCDDS

会場開催 & アーカイブ配信 ▶ 7/23 正午 ~ 8/6 19:00 まで

2023年 **7/22 土** 13:30 ~

参加費：会員 / **無料** 非会員 / **2,000 円**

※ 会場参加・アーカイブ配信視聴ともに事前のお申込みが必要です。

※ チケット購入でアーカイブ配信視聴が可能になります。

※ お子様同伴の参加が可能で、お子様の参加費は無料です。

会場：関西大学堺キャンパス 南海電鉄高野線「浅香山」駅下車すぐ

大会長：植田 紀美子（関西大学 人間健康学部・人間健康研究科） 主催：日本ダウン症療育研究会

## プログラム

開会の辞 大会長挨拶

教育講演 ダウン症児者の栄養指導・腎臓疾患 座長：岡本 伸彦（大阪母子医療センター遺伝診療科・研究所）

13:35- ■ ダウン症児者の栄養と食事について

西本 裕紀子（大阪母子医療センター栄養管理室）

■ ダウン症児の腎機能とそのフォローアップ

山村 なつみ（大阪母子医療センター腎・代謝科）

ミニレクチャー ダウン症関連マニュアル紹介 座長：南部 光彦（なんぶ小児科アレルギー科）

14:35- ■ 排泄の発達評価表作成から見えてきたこと

加藤 由里、柳下 雄大、芳本 有里子、前岡 伸吾

岡田 あずさ、南部 光彦（日常生活動作の発達評価表作成）

■ 日本ダウン症学会

移行医療支援ガイド及び成人期医療ガイドライン

玉井 浩（日本ダウン症療育研究会会長）  
日本ダウン症学会理事長

一般演題 座長：野中 路子（兵庫県立こども発達支援センター）

15:15- ■ 乳児期から開始する言語・コミュニケーション介入  
ー 3 歳までの報告

浅野 奈穂子（兵庫県立尼崎総合医療センター赤ちゃん体操教室）

高原 周治、福岡 希代子、西濱 扶生子

■ ダウン症児に特化した「児童発達支援・放課後等  
デイサービスはるか」の取り組み

谷村 千嘉子、胡崎 亮介、津田 浩伸  
（児童発達支援・放課後等デイサービスはるか）

■ 色々な世代のダウン症の方々への福祉現場での  
支援の実際

安田 文彦（社会福祉法人 一羊会）

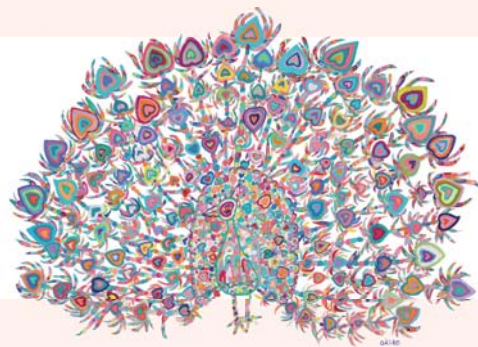
15:35- 「総会・赤ちゃん体操認定証授与式」

ミニ懇親会 & パフォーマンス

15:55- ダンス：ONE TRIBE



歌：カナデノウツ



特別講演 座長：植田 紀美子

16:30- 作家：岸田 奈美 氏 「家族だから愛したんじゃなくて、愛したのが家族だった  
～ダウン症の弟、車いすの母、認知症の祖母、書いてるわたし～」

17:20- 第 36 回大会の紹介、閉会の辞：玉井 浩（日本ダウン症療育研究会会長）

単位取得可能（会場参加のみ）

■ 大阪府医師会生涯研修 1.5 単位

■ 臨床遺伝専門医 3 単位

■ 認定遺伝カウンセラー 5 単位

■ GMRC 8 単位

お問合せ：日本ダウン症療育研究会 事務局 k.jspcdds@gmail.com

お申込み：Peatix（イベント管理システム）にて

共催：関西大学人間健康学部・人間健康研究科

後援：大阪小児科医会、大阪小児科学会、大阪小児保健研究会、大阪府、大阪府医師会、大阪府社会福祉協議会、公益財団法人日本ダウン症協会、堺市（五十音順）

お申込み期限▶

2023 年 7/20

12:00 まで



本大会の詳細は、  
日本ダウン症療育研究会の  
ホームページをご覧ください

## 第 35 回 日本ダウン症療育研究会から

日本ダウン症療育研究会は、育児教室と体操教室を組み合わせた「ダウン症赤ちゃん体操教室」が、1976年に藤田弘子先生により兵庫県立塚口病院(当時)で始まり、同様な取り組みが各地に展開され、長年にわたり継続されてきたことが背景にあります。そして、出生後の診断から家族への支援・育児相談、合併症の治療と予防、そしてよりよい療育の方法・教育相談など、トータルケアを研究し実践することを目的として、2006年7月1日に設立されました。ダウン症のある方の平均寿命が60歳を超えた今、ダウン症のある方のくらしは幼少期からの療育が基盤となることから、本研究会の役割がますます重要になると使命感をもって活動を行っています。

第35回研究会では、教育講演、ミニレクチャー、一般演題、特別講演を企画いたしました。特別講演では、5月から放映のNHK連続ドラマ「家族だから愛したんじゃなくて、愛したのが家族だった」の原作者岸田奈美さんをお迎えし、家族とのくらしの中で、日ごろからインクルージョンやダイバーシティについて考えることなどをわかりやすくお話していただきます。また、第28回研究会を最後に中断していました交流の場をミニ懇親会という形で、ダウン症のある方のパフォーマンスとともに企画しています。

本研究会は、ダウン症のある方に関わる様々な職種の方や保護者の方が一堂に会して学びあうユニークな研究会です。気軽にご参加いただき、皆様とともにダウン症のある方がよりすこしやすくなるような未来に向けて、学びを深めることができることを願っています。

第35回日本ダウン症療育研究会大会長  
関西大学人間健康学部・人間健康研究科教授 植田 紀美子

### 申込方法

- ▶ 右記 QR コードを読み込み、申込ページよりお手続きください。会場参加・アーカイブ配信のみの視聴ともに申し込みが必要です。



申込締切：2023 年  
**7/20 (木)**  
**12:00** まで

<https://jscrd-35.peatix.com>

- ▶ **会員**の方は会員番号が分かるものをご用意ください。

- ▶ **新規**にご入会される場合は **7/19 (水)** 中に

日本ダウン症療育研究会ホームページ「入会の案内」より入会手続き（情報の送信と年会費の入金）を完了後、会員チケットをお申込みください。



これを機会に、日本ダウン症療育研究会の新規会員になりませんか？詳しくは、ホームページへ！

<https://plaza.umin.ac.jp/~JSCRD/>

### 「赤ちゃん体操認定指導員」 申請に必要な研究会参加証について

- ▶ 会場参加の方は、当日の名札を出席証として保管してください。配信を視聴された方はレポートの提出により出席を確認いたします。詳細は本研究会ホームページにてご確認ください。

### 会場参加の 場合

会場  
**SB302**

### アーカイブ 配信視聴の 場合

**7/21 (金) 19時**までに  
視聴用 URL を送付いたします。

**7/23 (日) 正午**から  
視聴可能となります。

会場開催では感染拡大防止（消毒・換気等）と安全・安心のための対策を行います。